

令和7年度第1回むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）開催報告

開催日：令和7年5月11日（日）

実施場所：穂別町民センター、アースギャラリー（穂別博物館向かいの建物）・穂別博物館

令和7年度のむかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム、第8期）は、2月に行った募集を経て、5・6年生11名、3・4年生11名の会員が決定しました。中高生のボランティアは、化石くらぶ卒業生を中心として、今年度は12名が登録されました。

5月11日にオリエンテーションなどを含む令和7年度第1回が開催されました。

【5・6年生の部（午前）】

9名の会員児童が参加しました。むかわ町や札幌市、千歳市などからの会員が参加されました。穂別町民センターで開催された開会・オリエンテーションでは櫻井和彦穂別博物館館長の挨拶の後、中高生ボランティア、会員児童、博物館スタッフ・ボランティアの自己紹介を行いました。その後、西村学芸員から今年度の予定、化石採集時の服装、採集した化石の保管の仕方、穂別博物館の紹介を受けました。



穂別町民センターでのオリエンテーション。櫻井館長挨拶。



中高生のボランティアによる自己紹介の見本(左)。会員児童の自己紹介(右)。



学芸員による子ども化石クラブの説明

穂別町民センターでのオリエンテーションの後で、博物館と隣接するアースギャラリーへ徒歩で移動し、5年生と6年生の2グループに分けて、アースギャラリーでの化石レプリカ製作(石こう模型の製作)と博物館展示室と博物館バックヤードの見学を行いました。バックヤード見学では、普段は入れない学芸員部屋や収蔵庫の見学を行い、収蔵庫ではカムイサウルス実物化石と収蔵状況などの見学を行いました。



アースギャラリーへの移動



中高生のボランティアによる化石レプリカづくり指導



化石レプリカづくり

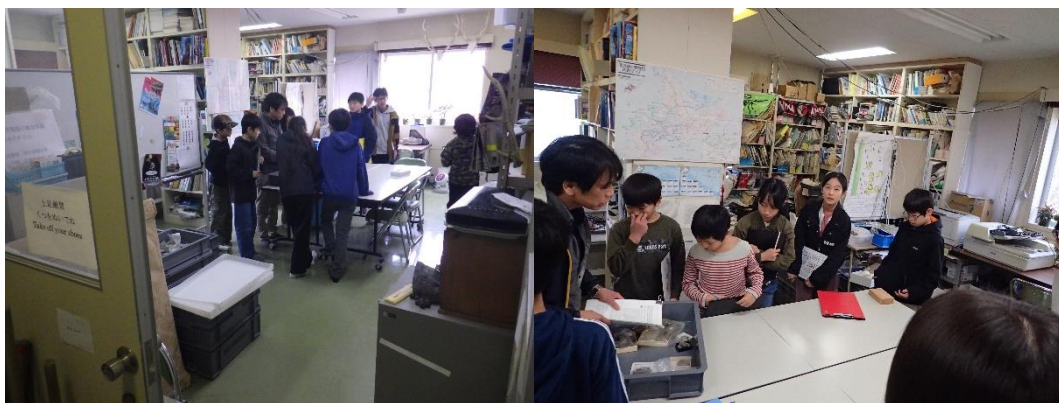


博物館収蔵庫の見学。クビナガリュウのホベツアラキリュウ骨化石を観察しているところ

(左)。



博物館収蔵庫の見学。カムイサウルスの骨化石を観察しているところ。



学芸員部屋の見学。学芸員が研究中の化石を観察しているところ。



5・6年生とスタッフの集合写真

【3・4年生の部（午後）】

11名の会員児童が参加しました。会員は札幌市や苫小牧市などから参加されました。穂別町民センターで開催された開会・オリエンテーションでは櫻井和彦穂別博物館館長の挨拶の後、中高生ボランティア、会員児童、博物館スタッフ・ボランティアの自己紹介を行いました。その後、西村学芸員から今年度の予定、化石採集時の服装、採集した化石の保管の仕方の紹介を受けました。



穂別町民センターでのオリエンテーション。櫻井館長挨拶。



中高生のボランティアによる自己紹介（左）。会員児童の自己紹介（右）



学芸員による子ども化石クラブの説明

穂別町民センターでのオリエンテーションの後で、博物館と隣接するアースギャラリーへ徒歩で移動しました。会員児童を3年生と4年生に分け、アースギャラリーでの化石レプリカ製作（石こう模型の製作）と博物館見学・展示案内をそれぞれ行いました。博物館の展示案内は中高生ボランティアの方々に行っていただきました。



穂別町民センターからアースギャラリーへの徒歩移動



中高生のボランティアによるレプリカづくり指導



化石レプリカづくり



中高生のボランティアによる展示案内



3・4年生とスタッフの集合写真

5月11日の活動では、中高生ボランティア10名、博物館ボランティア1名の方にお手伝いをしていただきました。ご協力ありがとうございました。

むかわ町穂別博物館 学芸員 西村智弘

主任 干場芽衣